



患者用インフォメーション

地図状舌 (Geographic tongue)

地図状舌 (良性移動性舌炎 benign migratory glossitis ともいわれる) は、たいてい舌背と舌側面に現れる炎症性病変です。典型として、白い辺縁に部分的あるいは全体的に縁どられた、さまざまな大きさのつるつるときわだった赤斑として発生します。

(右図参照) これは、通常舌面を覆っている糸状および茸状の突起 (舌乳頭) の消失によって起こります。たまに、口蓋、頬、舌下、歯肉といった口腔内の他の部位に似たような病変が見られることもあります。その場合は、地図状口内炎 (geographic stomatitis) や遊走性紅斑 (erythema migrans) とよばれます。



上左図: 地図状舌と溝状舌のコンビネーション

上右図: 舌下におよぶ遊走性紅斑

地図状舌について Q&A

Q: 地図状舌の原因って何？

A: 地図状舌の原因は不明です。精神的ストレス、癬、アレルギー、糖尿病、ホルモンのバランス異常などいくつかの要因が可能性としてあげられていますが、どれも決定的ではありません。これまでに、地図状舌と乾癬 (かんせん: 慢性の皮膚角化疾患) との関連が報告されています。乾癬を有する患者に地図状舌がより頻繁にみられており、地図状舌が口腔内におこる乾癬であるとの考え方もあります。



患者用インフォメーション

地図状舌 (Geographic tongue)

Q: どんな人に地図状舌がよくみられるの？

A: 地図状舌はかなりよくみられる状態です。幼児をはじめどんな年齢層にも起こり、全人口の1—2.5%の発生率と推測されています。病変の色、形、大きさともさまざまで、それゆえ地図状舌との名前がついています。病変はしばしば多発で、ある時期に完全に消失してはまた、再発することもあります。地図状舌と溝状舌 (**患者用インフォメーション: 溝状舌** を参照) はよく同時にみられます。

Q: 地図状舌って人にうつるの？

A: 地図状舌に感染性はなく、他の人にうつることはありません。

Q: 地図状舌って治療が必要なの？

A: 地図状舌はたいてい無症状で、ほとんどの場合治療は必要ありません。まれに舌の灼熱感やぴりぴり感を起こすことがあります。その場合は局所麻酔剤が舌表面の麻酔に使われます。舌の不快感をコントロールするため、抗炎症剤 (ステロイド系薬剤) が処方されることもあります。

Q: 地図状舌からガンになることってあるの？

A: いいえ。地図状舌からガンを生じるといった報告はこれまでにありません。ほとんどの場合、地図状舌はその特徴的な所見ゆえ、その診断に生検 (バイオプシー) は必要とされません。

このモノグラフに含まれる情報は、教育目的のみに作成されています。本情報は、専門医のアドバイス、診断、治療にかわるものではありません。健康状態についてのご質問は専門医療提供者にご相談ください。本モノグラムに提供された情報のみに頼ることは、あなたの健康のリスクにつながります。

オーラルメディシン米国アカデミー (THE AMERICAN ACADEMY OF ORAL MEDICINE : AAOM) について
オーラルメディシン米国アカデミーは、デンタルメディシン米国アカデミーとして1945年に設立された非営利団体 (501c6) であり、1966年に現在の名称に改称されました。オーラルメディシン米国アカデミー会員は、国際的に認識されるヘルスケアプロフェッショナルのグループを含む、複雑な全身疾患・口腔粘膜疾患・慢性口腔顔面疼痛などを患う患者の口腔ケアに携わる専門医からなります。オーラルメディシンは、複雑な全身疾患の口腔管理を担い、口腔顔面領域に影響を及ぼす医科関連疾患とその病態の診断および非外科的処置を担う歯科専門分野です。

The American Academy of Oral Medicine • (425) 778-6162 • www.aaom.com • PO Box 2016 • Edmonds • WA • 98020-9516